オーストンオオアカゲラ

【県内生息地】奄美大島(地域を定めず指定)

【種 別】国指定天然記念物

【指定年月日】昭和46年5月19日



全長約 29cm のキツツキ科オオアカゲラの 1 亜種で,留鳥として奄美大島だけに生息する。雄の頭頂は赤く,体上面はほぼ黒色で,羽に白い小さな横斑がある。胸には黒色の太い縦斑があり,腹は赤い。雌雄ともよく似ているが,雌の頭部は赤くない。

おもに照葉樹林内に生息し,老木や枯れ枝に穴を開け,中にいる昆虫の幼虫などを食べる。繁殖期には,くちばしで連続的に木の幹をつついて音をだすドラミングという行動がよく見られる。

日本にはほかに3亜種が生息し,南方のものほど体色が黒くなる傾向があるが,これらに比べ,オーストンオオアカゲラは特に黒い。